

1学年 国語科 1学期 指導計画・評価計画

実施月	単元	項目・内容・時数	単元目標	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	言葉に出会うために	朝のリレー 1	音声の動きや仕組みについて、理解を深めることができる。	音声の動きや仕組みについて、理解を深めている。		音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
		野原はうたう 4	音声の動きや仕組みについて、理解を深めるとともに情景や心情を表す表現に応じて音読の工夫を工夫することができる。	音声の動きや仕組みについて、理解を深めている。	「話すこと」において、速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さ、情景や心情を表す表現に応じて音読のしかたを工夫している。	音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
		声を届ける 2	聞き手を意識し、速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さに気をつけて話すことができる。	聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。		音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。
		書き留める言葉調べ 2	ノートの書き方、工夫のしかたを理解する。辞典・事典で言葉調べの方法を理解するとともに、辞典・事典類の種類と特徴を確認し、何を調べるときに役立つかを考えることができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、線や矢印などの工夫を用いて使うことができる。		
5	学びを開く	はじまりの風 4	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。	「読むこと」において場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
		〔聞く〕情報を聞き取り、要点を伝える 1	必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。	SWIHIに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。	「聞くこと」において、情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。	進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。
		言葉1 音声の仕組みや動き 1	音声の動きや仕組みについて、理解を深めることができる。	音声の動きや仕組みについて、理解を深めている。		声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の動きや仕組みについて理解を深めようとしている。
		話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする 4	目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	「書くこと」において、目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。
6	新しい視点で	ダイコンは大きな根？ 3	文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。	本文中で比較がどのように使われているかを理解している。	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。	文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。
		ちょっと立ち止まって 3	筆者の主張と事例との関係を理解するとともに、段落のまとまりに着目して要旨を捉えることができる。	筆者の主張と事例との関係を理解している。	「読むこと」において、序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
		情報整理のレッスン 比較・分類 1	聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫して話すことができる。	声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	「話すこと」において聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。「話すこと」において聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫し	話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
		情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く 4	目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。
		言葉2 指示する語句と接続する語句 1	指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。	指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		今までの学習を生かして、積極的に支持する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
		空の詩 三編 [書く]詩の創作教室 3	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。	詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、言葉豊かにしているとともに、表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。	「読むこと」において詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考え、「書くこと」において自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
7	言葉に立ち止まる	言葉3 ささまざまな表現技法 1	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。		比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。
		比喩で広がる言葉の世界 3	比喩などの表現の技法を理解し使うことができる。	文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。	「読むこと」において各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。	進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
		文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 2	単語の類別について理解することができる。	文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。		単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。

実施月	単元	項目・内容・時数	1学年 国語科 2学期 指導計画・評価計画				
			単元目標	評価規準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
9	読書生活を豊かに  心の動き	ブックトーク	10	目的をもって本を読み、自分の意見や考えを広げるとともに、本の魅力をわかりやすく伝えることを通じて相手や目的に応じて適切に話すことができる。	相手に伝わりやすい言葉を選んでいる。	「話すこと・聞くこと」において資料を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫しようとしている。
		大人になれなかった弟たちに…	4	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。	「読むこと」において描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。
		星の花が降るころに	5	場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。	様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。	「読むこと」において場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
		項目を立てて書こう 案内文を書く	2	目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。	「書くこと」において伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。	集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書くようしている。
		[推敲]読み手の立場に立つ	1	読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えることができる。		「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。	粘り強く文章を推敲し、今までの学習を生かして案内文を書き改めようとしている。
		言葉4 方言と共通語	2	共通語と方言の果たす役割について理解することができる。	共通語と方言の役割や特徴について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
		聞き上手になろう 質問で話を引き出す	1	必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。	話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	「話すこと・聞くこと」において、話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。	進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。
漢字2 漢字の音訓	1	漢字の読みには「音」と「訓」があることを理解し、「音」と「訓」の歴史や性質を考慮することができる。	漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
10	筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジウカラ	5	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。	筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開について、筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
		思考のレッスン1 意見と根拠	1	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。		根拠の客観性や理由づけに無理がないかを積極的に検討し、学習課題に沿って、意見と根拠の関係について理解を深めようとしている。
		根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する	5	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
		漢字に親しもう3	1	新出漢字について読み、書きができるとともに、わからない言葉について辞書で調べ理解することができる。	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		文法への扉2 言葉の関係を考えよう 文法2 文の組み立て	2	単語の類別について理解することができる。	単語の類別について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
		聴きひたる 大阿蘇	3	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読している。	繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
11	いにしえの心	古典の世界 音読を楽しむ いろは歌	1	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。	言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。		古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。
		蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	4	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。	「読むこと」において「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。	進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。

12	にふれる  価値を見いだす	今に生きる言葉 [書く] 故事成語を使って体験文を書こう	3	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。	音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。	「読むこと」において「矛盾」や、「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。「書くこと」において「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
		「不便」の価値を見つめ直す [書く] 筆者の主張に対する自分の意見を書こう	4	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。	意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。	「読むこと」において賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。「書くこと」において立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。	積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。
		思考のレッスン2 原因と結果	1	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。	原因と結果がどうつながっているか整理し、二つの関係について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
		漢字に親しもう4	1	新出漢字について読み、書きができるとともに、わからない言葉について辞書で調べ理解することができる。	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		[話し合い(進行)] 進め方について考えよう	1	意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。		「話すこと・聞くこと」において話し合いの話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。
		話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、もの見方を広げる	4	意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において話し合いの話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。
書き初め	10	漢字の字形・文字の大きさ配列などを理解して楷書を書くことができる。漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くことができる。	字形・文字の大きさ配列などを理解して楷書を書くことができる。漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書こうとしている。		身の回りにある身近な文字を行書で書こうとしている。		

1学年 国語科 3学期 指導計画・評価計画

実施月	単元	項目・内容・時数	単元目標	評価規準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1		書写	目的や必要に応じて楷書または行書を選んで書くことができる。	自分が好きな言葉にふさわしい書体を選び書いている。		進んで自分が好きな言葉にふさわしい書体を選び、主体的に楷書または行書で書こうとしている。	
2	自分をみつめる	少年の日の思い出 [書く] 別の人物の視点から文章を書き換えよう	6	時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えることができる。	場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。	「読むこと」において時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。「読むこと」において登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
		文法への扉3 単語の性質を見つめよう	2	「品詞」や「体言と用言」といった単語の類別について理解することができる。	「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
		漢字に親しもう5	1	新出漢字について読み、書きができるとともに、わからない言葉について辞書で調べ理解することができる。	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		二十歳になった日	4	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。
		構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	4	書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。	体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。	「書くこと」において読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。「書くこと」において書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。	粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
		幻の魚は生きていた	5	筆者の主張や論の要旨を捉えるとともに、資料などを正確に読み取ることができる。	本文中の接続詞に着目し、論の展開や段落構成について理解している。資料などのグラフを正確に理解している。	「読むこと」において筆者の主張や論の要旨を正確に捉えている。「読むこと」において本文の「問いかけ」とその「答え」の関係性を理解している。	論の展開を捉え、説得力のある文章の特徴について考え、使おうとしている。
3		漢字3 漢字の成り立ち	1	漢字の成り立ちについて理解するとともに、分類別に整理することができる。	漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
		一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する	4	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点を資料にまとめ、発表しようとしている。
		ぼくがここに	1	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。		積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。